



いつくしみ



特集

飯田病院心臓血管診療、第二章の始まり

屋上より初日の出を望む

CONTENTS

新年のご挨拶

ロビーコンサート 第150回を迎えて

褥瘡ってなに？

病院からのお知らせ

シリーズ職場紹介 「かお」の見える医療を
内科外来

栄養科おすすめレシピ



新年のご挨拶

院長 原 重 樹

皆様、新年明けましておめでとうございます。
す。

例年同様また新しい年を迎えられる日本に住む私たちは幸せと思います。この平穏がいつまでも続くように祈りたいものです。

しかし眼にははっきりとは見えませんが、少しずつ世相は変化しており漠然たる不安があることも事実です。特に老後のことを心配されている方が多いのではないのでしょうか。

生老病死は必然ですが、病気になった時のこと、また高齢者介護の問題などが誰でも一番心配です。

近年この飯伊地方の人口は毎年1600人くらいずつ減少し続けており、特に若い人が減っていて、いわゆる超高齢社会となりつつあります。

そんな中、医療関係の分野で現在話題になっていることの一つに「地域医療構想」なるものがあります。超高齢社会でもその社会が安心、安全に維持されるために、医療提供

体制を見直して整えようとしているのです。

国が方針を示し、それを医師会や保健所が協力してこれから作っていきますが、キーワードは、病院完結型医療から、地域完結型医療への転換ということです。

飯伊地方はすでにかなりそれが出来つつある先進地域ではないかと思われませんが、この地域の他の病院、医院、施設などと連携を取り合って、住み慣れた土地で安心して暮らせる環境造りを模索しているところです。当院もその一員として全面的に協力してゆく所存でおります。急性期医療を終えて退院して在宅へ移る時に、スムーズに移行出来るように皆様のご希望を聞いて参ります。

どんな問題でも遠慮なくご相談頂きたいと思います。本年もよろしくお願い致します。

ロビーコンサート 第150回を迎えて

ロビーコンサート委員長（リハビリテーション科） 林 忠輝

平成27年11月28日（土）、東京都交響楽団の首席オーボエ奏者の広田智之さんと、ピアノの上川佳連さんをお迎えし、「第150回記念飯田病院ロビーコンサート」が開催されました。この記念すべきコンサートに、約200名の方々が来院され大盛況のうち幕を閉じました。

ここで、ロビーコンサートの歴史についてご紹介いたします。平成13年飯田病院は創立100周年を迎え、この機に病院改築を行いました。その完成に合わせて、エントランスホールにて「飯田病院100周年記念行事」として、コンサートや地元の獅子舞（外で行いましたが）を開催し、入院患者さんや職員のみならず、地元の方も自由にご入場いただき、約1年間ほぼ毎月のペースで計10回程度盛大に行われました。こうして100周年記念行事が幕を閉じたのですが、「このようなコンサートを終わらせてしまうのはもったいない」という職員や一般の方の声や、出演した演奏家からの「音の響きがコンサートホールより良い」と絶賛するお言葉などを多数いただきました。こうして「医と文化の融合」を目指し、医療のみならず地域の皆様の文化の交流の場でありたいという職員の強い希望にて、ロビーコンサートとしてほぼ毎月1回開催され、今年で15年、計150回という開催に

至りました。なお、今回出演いただいた広田智之さんは、当院の姿勢に非常に共感していただき、100周年記念行事から毎年計15回出演いただいています。

しかしここに至るまでの道のりは決して平坦なものではありませんでした。当初は、職員を中心に地元の演奏家などに声をかけ、なんとか出演いただける演奏家を病院をあげて探していた時期もありました。このように病院全体、そして地域の演奏家に支えられ、今ではプロの演奏家から当院のロビーコンサートに出演したいというお話をいただけるまでになりました。もちろん、プロの演奏家を中心に150回ものコンサートを定期的で開催してきた病院は、全国見渡しても当院しかありません。

今後も毎月1回のペースでロビーコンサートは開催予定です。内容はクラシック・ジャズ・バンド演奏などの音楽にとどまらず、毎年1月には新春寿寄席と題し落語も行われます。過去にはマジックショーも行われたこともあります。まだ一度も観たことがないという地域の方も是非一度足をお運びください。今後も地域だけでなく、全国に誇れるような「文化を発信する病院」として、ロビーコンサートも期待に応えていきたいと思っております。



特集

飯田病院心臓血管診療、第

112年の歴史ある当院での循環器内科は37年前、現院長 原 重樹先生の着任から始まりました。現内科部長渡部秀雄先生や諸先生方により年間100例前後の心臓カテーテル検査(20例のカテーテル治療)を行ってきた時期もありましたが近年はやや症例数が少なく推移していました。平成24年8月に唐澤が着任後はグラフのように心臓CT検査、心臓・末梢血管カテーテル検査(冠動脈形成術、末梢動脈形成術)、ペースメーカー手術など年々増加しています。特に平成27年4月横田大介医師着任後カテーテル検査治療は年間220例となり循環器診療の範囲・奥行も広がり、飯田病院心臓血管診療第二章が始まったといえます。

心臓血管診療は日進月歩ですが、カテーテルなどの器具や補助心臓のような機器の進歩がその基礎を支えています。平成25年5月に心血管造影装置、心臓電気刺激装置、ポリグラフ、大動脈内バルーンパンピングを更新し、平成27年4月横田医師着任時に経皮的心肺補助装置、更に南信唯一の振動式末梢血管貫通用カテーテルシステム(クロスサー)を導入しました。平成28年は心臓超音波装置の更新、経食道エコー装置の導入を行い、心臓疾患の再発予防・予後改善効果がある心臓リハビリテーションも開始する予定です。横田医師は前任地松本で冠動脈治療はもとより腹部大動脈瘤のステント内挿入術治療も手掛け、特に下肢動脈カテーテル治療は年間100例近い豊富な経験をもっています。当院でもこれまで困難とされていた透析症例の高度石灰化下肢動脈閉塞病変などもクロスサーを用いカテーテル治療を行っています。また下肢動静脈治療前後の浮腫、疼痛、潰瘍に対し外科柴田祐充子医師や認定看護師とタイアップし、より専門性の高いフットケア外来を開設してゆきます。



二章の始まり

振動式末梢血管貫通用カテーテルシステム

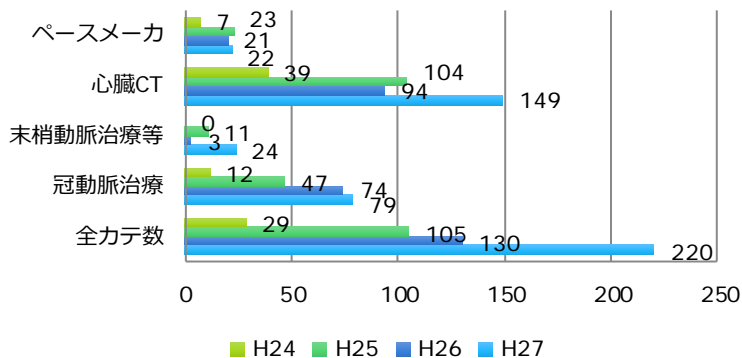


経皮的心肺補助装置

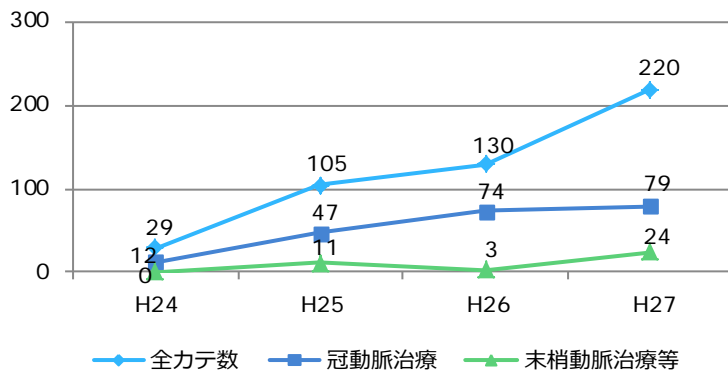
カテーテル(クロッサー)



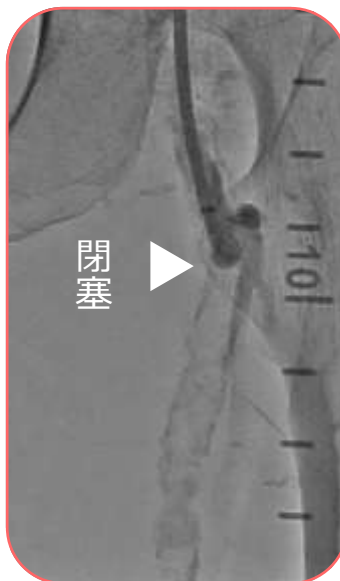
循環器診療治療推移



カテーテル検査・治療件数推移



振動式末梢血管貫通用カテーテルシステムとクロッサーによる治療



閉塞



ステント留置

クロッサーで大腿動脈閉塞を治療。閉塞より先は石灰化高度で血管の壁が見えています。

クロッサーで穿通後ステント留置し血流改善



循環器内科部長

唐澤 光治

- 日本内科学会 総合内科専門医
- 日本循環器学会専門医
- 日本心血管インターベンション治療学会専門医
- 日本核医学会専門医
- PET核医学認定医
- 心臓核医学会

じょくそう

褥瘡ってなに？

皮膚・排泄ケア認定看護師

川手 優子



1 褥瘡とは

褥瘡とは「床ずれ」とも言われ、身体の同じ所に長い時間体重がかかり続けると、その部分の血液の流れが悪くなり皮膚や筋肉が死んでしまう状態です。特に骨の出張っている部位にできやすいと言われています。



2 褥瘡の一番の原因は動けなくなること！

自分で寝返りがうてなくなると同じ場所に体重がかかり、血流が悪くなり褥瘡が発生します。人は普通血流が悪くなると痛みやかゆみを感じて寝返りをうちますが、動けない方、痛みを感じ難い方は、寝返りをうてず褥瘡になりやすいと言えます。

寝返りがうてなくなったら寝返りをうたせてあげることが必要になります。



3 栄養も大切！

食事の量が減ると身体でクッションの役割をしている脂肪や筋肉が減り、骨が飛び出した状態になります。この状態では飛び出した骨の部分の圧力が高くなり褥瘡が発生しやすくなります。

4 スキンケアも大切！

おむつの中は高温多湿。皮膚がふやけ易い状態です。ふやけた皮膚は皮膚の強度が低下し褥瘡発生の要因になります。おむつを使用している方はお尻の清潔と皮膚の保湿や撥水効果のある保護クリームのお勧めします。

当院売店でも販売しています。もちろん市販のハンドクリームなどでもよいです。



5 褥瘡の危険度チェック!

褥瘡の危険があるかどうか定期的にチェックすることが必要です。

OHスケール (一部表現変更)

Q1 ベッド上で自分で寝返りができる

できる	0点
どちらでもない	1.5点
できない	3点

Q2 お尻の骨 (仙骨) が飛び出している

骨突出なし	0点
軽度・中等度	1.5点
高度	3点



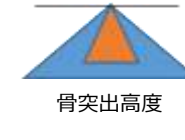
Q3 むくみがある

いいえ	0点
はい	3点



Q4 関節の拘縮がある

いいえ	0点
はい	1点



Q1~Q4の合計点

0点	褥瘡になり難い
1~3点	少し褥瘡になりやすい
4~6点	褥瘡になりやすい
7~10点	かなり褥瘡になりやすい

6 危険度に応じてマットを選択!

<目安>

1~3点 ウレタンマットレス (10cm未満)

4~6点 ウレタンマットレス (10cm以上)

7~10点 圧切換え式エアマットレス

介護保険で借りることができます。ケアマネージャーさんに相談してみましょう!

車椅子に長時間乗られる方は車椅子用のクッションが必要です。

7 褥瘡は早期発見が重要!

発赤 (皮膚が赤くなっているところ) を見つけたら、軽く指で3秒押してみてください。赤みが消えれば充血、赤みが消えなければ褥瘡の可能性あります。かかりつけの医師やケアマネージャーさんに相談しましょう!



発赤を見つけたら指で3秒軽く押す



指を離れた瞬間に赤みが消えていなければ初期の褥瘡、消えて次第に赤みが戻ってくれば褥瘡の一手前

8 褥瘡と間違えやすい傷

え
「壊疽」

足の血流が悪い方 (閉塞性動脈硬化症など) は小さな傷から傷が大きくなったり、ゆび先や骨の出っ張った部分から黒く壊死してくる場合があります。足の傷で治りにくい場合は、一度足の血流を検査することをお勧めします。また、冬場は特に血流が悪くなりやすいので足を冷やさないように、柔らかい靴下やレッグウォーマーを履くことをお勧めします。

「低温やけど」

冬になると電気毛布やあんかを使用される方も多いと思います。しかし動けない方、感覚が鈍い方は危険です。電気敷き毛布は厳禁です。電気毛布は上から使用し直接皮膚に触れないように毛布と掛布団の間に入れて使用して下さい。カイロを背中に貼ったまま寝るのも危険です。あんかも直接皮膚に触れないようにバスタオル等で包み少し離して使用しましょう。

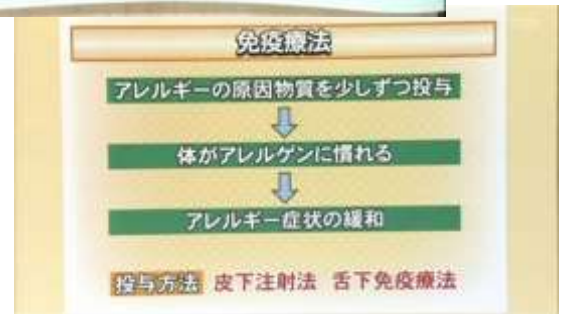


(下肢動脈閉塞に伴う踵の潰瘍)

病院からのお知らせ

耳鼻咽喉科部長 堀口医師がテレビ番組に出演しました

当院耳鼻咽喉科部長 堀口茂俊医師が1月4日（月）～8日（金）の5日間、 テレビ信州番組「奥様はホームドクター」に、「アレルギー性鼻炎に対する新しい治療」をテーマとして出演しました。



野菜たっぷりキャンペーン

みなさんが召し上がっている野菜の量は足りていますか？

栄養士がみなさんの野菜の量を確認し、アドバイスを行います。一日に必要な野菜の量の目安も展示します。ぜひこの機会に体験し、これからのお食事の参考にしましょう。

期日：3月16日(水)

時間：10：00 ～ 11：30

場所：飯田病院 エントランスホール



フットケア外来開設のお知らせ

2月10日から、「フットの日」にちなみ、フットケア外来を開設します。

日時：毎週水曜日（15：00 ～ ）

対象：下肢の血行障害のある方
足先のトラブルのある方

まずは、主治医にご相談ください。

飯田病院ロビーコンサートのお知らせ

第153回 3月12日 (土)	西野 優子 (ヴァイオリン) 小澤 佳奈 (ピアノ)	英国ハーヴァーヒルソリストコンクール第一位入賞の西野さんがロビーコンサート初登場です。現在も国内外で多数の楽団、メディアにて活躍中です。
第154回 4月23日 (土)	寺井 真美子 (ピアノ) 斎藤 綾乃 (マリンバ)	ピアノ奏者の寺井さん、パーカッション奏者の斎藤さん、共に飯田病院初登場です。詳細は後日発表します。
第155回 5月21日 (土)	薄井 信介 (チェロ) 他	クラシック出身ながらポップスも演奏するチェリストの薄井さんがこちらも飯田病院初登場です。編成などの詳細は後日発表します。

いずれも、開場18:00、開演18:30、入場無料となっております。
ご家族、ご友人お誘い合わせてお気軽にご来場ください。出演者等の都合により日時が変更になる場合があります。詳しくは飯田病院までお問い合わせください。

冬期流行感染症感染防止のための入院患者様への面会制限ご協力のお願い

入院治療中の患者さんにインフルエンザやノロウイルスなどの冬季流行感染症を予防するために、下記の対応へのご理解とご協力をお願いいたします。

12月1日からは冬季流行感染症注意期間として、患者さんへの面会時は、**マスクの着用と手洗い**を必ず行ってください。

尚、インフルエンザや感染性胃腸炎の発生が増加すると、地域（県下）に警報が発令されます。その場合、上記期間に限らず一般の方の面会を制限させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

飯田下伊那地域感染防止対策連携医療機関では、インフルエンザおよび感染性胃腸炎の流行期間（平成28年1月4日～3月31日）において、入院治療中の患者さんに感染を拡げないための措置としまして**全館面会制限**を実施させていただきます。

【面会の出来る方】

ご家族の方

身の回りの世話をされる方

入院・退院に関する手続き、病状説明、手術前後など特に必要と認める方

※ご面会の際にはマスクの着用と手指衛生をお願いいたします。

ご家族以外の方には面会を制限（**原則的に禁止**）させていただきます。特に学齢期（**中学生以下**）のお子様を連れての面会はお遠慮願います。

入院患者さんへの感染防止のため、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

✓ マスク着用



✓ 手指衛生





寒い季節です。手洗いうがいで感染予防しましょう！！

内科外来主任 柴田 美春

季節柄、感染対策のためにマスクをかけることが多く、個性ある顔で患者さんを迎えることができません。今回は化学療法室・泌尿器科スタッフも一緒に笑顔で登場させていただきます。

内科外来では、高血圧・糖尿病治療などで予約来院をする方、循環器・消化器症状など様々な症状の悪化で来院される方の診療に当たっています。その数は1日平均150人程となり、待ち時間延長時には患者さんにご負担をかけております。そんな中でも来院へ来て良かったと少しでも満足していただけるよう、展示物や「外来川柳」など参加型で健康を意識していただける工夫をしました。今年度は転倒予防の推進ということで運動紹介のDVD視聴を行い、待ち時間の中で少しでも役立つ情報を提供できればと思って活動しています。

スタッフ一同、毎日元気で患者さんをお迎えできるよう、自らの健康管理にも気をつけ、これからの冬本番を頑張ってまいります。



福袋

栄養科
おすすめ
レシピ

今回ご紹介するのは、油揚げの中に数種類の具を詰めて煮る、福袋です。油揚げや豆腐は大豆の加工品です。大豆は畑の肉とも呼ばれる栄養豊富な食品です。更年期障害やがんの予防、血圧低下、記憶力の向上や老人性認知症の予防、便秘改善などの効果も期待できます。

材料（4人分）

材料		分量(4人分)
油揚げ		4枚
豆腐		280g
ひじき(乾燥)		4g
にんじん		20g
グリーンピース(冷凍)		12g
A	みりん	大さじ1/2
	しょうゆ	大さじ1/2
片栗粉		小さじ1強
長いも		20g
B	だし汁	適量
	砂糖	小さじ4
	しょうゆ	大さじ1強
つまようじ		4本



エネルギー・・・125kcal たんぱく質・・・7.6g 脂質・・・7.0g 食塩・・・0.9g （1人分あたり）

【作り方】

- ① 油揚げは一辺に切り込みを入れて袋状にし、熱湯をかけて油抜きをしておきます。
- ② 豆腐は水をよく切っておきます。
- ③ ひじきは水でもどしてザルに上げ、水を切っておきます。
- ④ にんじんは5mmの長さの干切りにします。
- ⑤ 鍋に豆腐を崩しながら入れ、③④とAの調味料を加え、火にかけ、焦がさないように混ぜながら水気がなくなるまで煮てから冷ましておきます。
- ⑥ グリーンピースはさっと茹でてザルに上げ、水を切っておきます。
- ⑦ 長いもは皮をむいてすりおろしておきます
- ⑧ ⑤に片栗粉と⑥⑦を加えてよく混ぜ合わせます。
- ⑨ 油揚げに⑧を詰め、つまようじで止めます。
- ⑩ Bを鍋に入れて煮立たせたところへ⑨を入れ、落としぶたをして煮ます。
- ⑪ つまようじを取り、半分に切って皿に盛ります。



栄養士 山田

調理担当者より一言！！

- ・片栗粉と長いもは、熱いうちに入れるとつなぎの効果が薄れてしまいます。必ず粗熱のとれた所へ入れましょう。
- ・落としぶたをして煮る事で、福袋全体に味がしみて美味しく仕上がります。

飯田病院 外来診療予定表

平成28年1月現在

診療科		月	火	水	木	金	土	
内科	①		羽生修治			羽生修治	(交替制)	午後休診
	②	原重樹	原重樹	千葉恭	糖尿病外来	原重樹		
	③		福岡秀樹	福岡秀樹		山路研二		
	④	糖尿病外来	渡部秀雄	渡部秀雄	山路研二	渡部秀雄		
	⑤	千葉隆一	佐々木成人	千葉隆一	千葉隆一	佐々木成人		
	⑥	原栄志	唐澤光治	佐々木成人	原栄志	唐澤光治		
	⑦		横田大介	羽生修治		横田大介		
神経内科		近藤恭史 (信大)	羽生修治	関島良樹 (信大)		羽生修治	(交替制)	午後休診
外科	①		田中穂積		田中穂積	田中穂積		午後休診 月・水・土曜休診
	②		森田誠市		森田誠市	森田誠市		
	③		柴田祐充子		柴田祐充子	柴田祐充子		
整形外科	①	鈴木健太郎		鈴木健太郎		鈴木健太郎	田中厚誌 (信大)※	午後休診 火・木曜休診 ※土曜要電話確認
	②	矢嶋秀明		矢嶋秀明		矢嶋秀明		
	③	小林貴幸		小林貴幸		小林貴幸		
眼科	①	浅井裕子	浅井裕子	浅井裕子	浅井裕子	中澤哲治	(交替制)	
	②	中澤哲治		中澤哲治	中澤哲治			
泌尿器科		梅田俊一	深澤瑞也 (山梨大)	梅田俊一		神家満学 (山梨大)		午後休診 木・土曜休診
精神科		小宮山徳太郎 松本武典 松田あずさ	小宮山徳太郎 木下守	南風原泰 柿田充弘 松田あずさ	神庭靖子 杉浦琢 松本武典	南風原泰 柿田充弘	(交替制)	
耳鼻咽喉科		堀口茂俊	堀口茂俊		堀口茂俊		堀口茂俊	土曜日予約制
上部内視鏡			原栄志	(交替制)	(交替制)	原栄志	市瀬博	
下部内視鏡			原栄志	(交替制)	伊東一博	原栄志 伊東一博		
阿智診療所		羽生修治	(交替制)	原重樹	福岡秀樹	千葉隆一		午後休診 土曜日休診

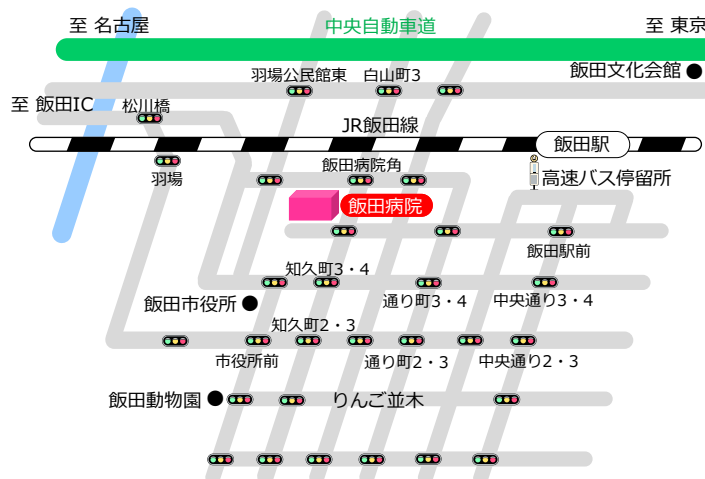
※ 内科、神経内科、外科、整形外科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科は午前11:00までの受付となります。

※ 土曜日午後は全科休診となります。



〒395-8505 長野県飯田市大通1丁目15番地
 TEL 0265-22-5150 FAX 0265-22-3988
 URL <http://www.iida.or.jp/>
 医療連携課 (月~土 8:30~17:30)
 TEL 0265-56-0031 FAX 0265-56-0032

- ◎ J R 飯田線 飯田駅より徒歩5分 (約300m)
- ◎ 中央自動車道 飯田I.Cより車で10分 (約5km)
- ◎ 飯田市市民バス 飯田病院前バス停下車
- ◎ 信南交通 飯田病院前バス停下車
飯田病院角バス停下車



広報誌 平成28年冬号 (第48号)
 ■発行 社会医療法人栗山会
 ■編集 広報委員会